西日本新聞 (明治25年3月26日第3種郵便物認可) 第47737号 (日刊)

西日本新聞

2016年 9月19日 (月曜日)

九州の人と四季に密着した山歩き専門誌
季刊のぼろ
書店で好評発売中 ●出版部

日本医療機能評価機構認定 医療法人ゴミュニテ 風と虹
—心療内科・精神科—
のぞえ総合心療病院
理事長・院長 堀川 公平
久留米市藤山町1730 ☎0942(22)5311
のぞえ 検索

(第3種郵便物認可)

TAO×竹田

文化芸術は街を元気にする！

繁忙の中でも成長する

9月。九州を皮切りに再び全国ツアーが始まるときだ。夏フェスロングランを経て一息つく間もなく、TAOのアーティストはツアーのキャストに選ばれるべく、個人や複数での演技チェックをプロデューサーである僕に求めてくる。必要なキャストの数は決まっている。その枠に入らなければ…。

以前に比べ、その人数もおよそ2倍になった。2014年から本格的に、2班体制でツアーを行っているためだ。1班は主要都市を主軸とした全国ツアーで各地を巡り、もう1班は海外ツアーや一部国内ツアー、他アーティストとのコラボイベント出演、学生向け芸術鑑賞会への出演など多岐にわたる。

TAOの1年間のスケジュールは常に「繁忙」。年間300を数える公演を行い、その上、毎年新作舞台を制作し続けている。5～6月で、各テレビ局と企画する全九州ツアーで新作舞台のお披露目を行い、6月下旬より全国ツアーが始まる。7月後半は東京ロングラン—東北・北海道ツアー、8月は夏フェス。9月は再び九州ツアー、10～12月中旬まで全国ツアー、そして12月後半は福岡ロングラン。

年明けは海外ツアー3カ月…。それでいて、ツアー中のメンバーの頭の中は上演中の作品の改善やアレンジ、さらには次作へ向けた作曲等の制作がある。それを持ち寄って、3～4月で次回新作舞台の制作の詰めに入るのだ。

TAOのアーティストは、ただ決められた演奏や演技をこなしていくだけでは到底務まらない。舞台上の姿だけでなく、例えば作曲や編曲、振り付け、外部制作チームとの打ち合わせ、夏フェスの企画・営業・運営、プロダクション部と連動した営業、そして後輩や研修生の教育、さらにはTAOの里の管理…。「1人三役」そのためには、めまぐるしく過ぎていくスケジュールの中で、いかに時間を工夫するかということが重要になってくる。「生活即舞台」とはよく言ったものだ。

いよいよまた今年も、1班には年間で最長となる全国ツアーが訪れ、もう1班も面白いツアーの数々が待っている。そのうちの一つに、地元・竹田市の岡城趾で開催の特別ライブがある。このライブは、内閣官房オリンピック・パラリンピック推進本部事務局の委託を受け、「平成28(2016)年度オリンピック・パラリンピック基本方針推進調査」として実施される大変意義深いイベントである。

2班がそれぞれのツアーを経て、また年末集結するのが楽しみだ。

(タオ・エンターテイメント社長、藤高郁夫)

TAOのアーティストは藤高社長(右奥)との間で演技チェックをする

救急在宅医 19日
宇佐市 賀来内科医院(37)1114▷吉田耳鼻咽喉科(25)4187▷小野内科
玖珠郡 玖珠記念病院—歯科医師救急当番